

Gender Media

構築されたメディア と メディアによる構築 ——ジェンダー表象をめぐって

講師：諸橋 泰樹氏

(フェリス女学院大学文学部教授)

【概要】

何やらトートロジーめいたタイトルであるが、前者の「構築」は、制作者の思惑、メディアの文法、政治的・経済的背景、取り巻く社会意識などによってメディアが「つくられる」ということを意味する。後者の「構築」は、社会に放り出されたメディアが、人びとの思惑や社会的・文化的文脈によって独自の意味世界や社会意識が「つくられる」ということを含意している。そして同様に、(あまり認めたくないかもしれないが) ジェンダーも言説によって構築され、それによって我われは現実を生きている。

メディアにおいてジェンダーがいかに語られるか、我われはその語りをどのように経験するか、テレビ番組素材を使って参加者とともにワークショップ形式で考えてみよう。

日時：2010年7月9日(金)

18:30~20:30

場所：立教大学池袋キャンパス

7号館7101教室

協賛：異文化コミュニケーション研究科、キャリアセンター、コミュニティ福祉学部、社会学部、人権・ハラスメント対策センター、チャプレン室、文学部

【お問い合わせ先】ジェンダーフォーラム事務局

Tel&Fax: 03-3985-2307 E-mail: gender@rikkyo.ac.jp

<http://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/philosophy/>

[activism/gender/](http://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/philosophy/activism/gender/)

諸橋泰樹氏プロフィール：フェリス女学院大学文学部コミュニケーション学科教授。我が国の女性学の体系を社会学、コミュニケーション学、メディア学の分野からつくり、支えてきた草分け的研究者の一人。主著に『メディアリテラシーとジェンダー』（現代書館、2009年）、『ジェンダーとジャーナリズムのはざまで』（批評社、2005年）、『ジェンダーの語られ方、メディアのつくり方』（現代書館、2002年）、など多数。ジェンダー学関連学会のみならず、男女共同参画行政においても全国規模で様々な機関の信を受け、公職を歴任する。現在、日本女性学会幹事、埼玉県男女共同参画審議会委員、日本ペンクラブ言論表現委員会委員、日本ペンクラブ女性作家委員会副委員長、平塚市ひらつか男女共同参画協議会副会長、渋谷区男女共同参画アドバイザー、和光市男女共同参画推進審議会会長、小田原市男女共同参画プラン策定推進委員会委員長などを務めている。